



ご入園、ご進級おめでとうございます。入園すること、進級することをとっても楽しみにされているお子さん、また、新しい環境に不安になり涙の出るお子さんもおられます。泣かれるわが子に、後ろ髪ひかれるお母さんもおられるでしょう。子どもたちの様々な思い、保護者の方の思いに寄り添いながら、楽しい保育に向けて取り組んでまいりたいと思います。

今年度のテーマは、「どきどき、わくわく、なにしてあそぼう！」です。赤ちゃんの頃からたっぷり愛情をかけてもらって育てられ、愛着関係の出来ているお子さんは、0歳から目で見て触って、いろんなことに興味を示します。その興味関心、指さし、つぶやきをあそびにつなげ、保育士も一緒に遊びながら子どもたちの思いに共感していきます。充分満足いくまで遊ぶことはいずれ大きくなった時にいろんなことに取り組む意欲にも繋がります。給食や睡眠など生活習慣も身に着けられるよう、赤ちゃんの時から、欲しい時に欲しいだけたっぷり愛情を注ぎ、丁寧な関わりをしていきたいと思います。その積み重ねは幼児になった時に「これなんだろう」「やってみたいな」と自分のやりたいあそびを選んで集中して取り組める力につながるのではないのでしょうか。様々な素材や廃材、絵の具、パス、はさみなどをしっかり経験し、思いっきり満足して遊べるようにしていきます。またあそびを中断する時には、後で続きをしようと気持ちを切り替えられるよう、あそびの連続の保証や環境の作り方も改善していきます。今は何をやる時なのか、どうすればよいのか、自分で状況判断できる子にして、安心して小学校へ送り出せるようにしたいと考えています。

今年度、年長クラスになった子どもたちは、あこがれの年長になったことで今、とてもはりきっています。大きな声でご挨拶もします。お手紙ごっごがはやっており、お友だちにお手紙

を書くために、あいうえお表を見ながら文字を書いたり、先生に教えてもらって書いています。お手紙の返事が書きたくて、今まで文字に興味のなかった子も文字が書きたいという気持ちになり、一生懸命覚えて書いている子もいます。紙芝居作りをしたり、ペープサートを作って、お友だちと人形劇をして遊んだり、自らやりたいと思って遊ぶ中には、たくさん学びがあり工夫もあります。時にはけんかをして、涙を流すこともあります。先生たちはその様子を見て、時にはけんかの仲裁に入りお互いの話を聞きいて気持ちに共感します。我慢をしなればいけないことがあることや、あそびのルールお友だちの存在の大切さも学ぶのです。

あそびの中で主体性、柔軟性、想像力、自制心、自己肯定感、自信、回復力、やり抜く力、社会性、協働力、共感力等の目に見えない力「非認知能力」が育って行くのだと思います。その力が育まれるよう、興味をくすぐるような環境作りやあそびに今年度も取り組んでいきます。

「今日も保育園で〇〇して遊ぶんだ!」「〇〇の続きがしたいんだ!」と子どもたちが保育園に行くことを楽しみにできるように、わくわくする保育園を目指します。毎日、廃材で作ったものを持ち帰ったり、園でのお話をたくさんすると思います。しっかり耳を傾け、聞いてあげて下さいね。作品も褒めてあげて下さい。保護者の方の日々の関わりが子どもたちの自信に繋がり、主体性を伸ばすことにも繋がります。

日々の子どものあそびの様子も写真入りのドキュメンテーションにして、見て頂こうと思います。楽しみにしてして下さい。

今年度も、どきどきわくわく、楽しい保育に向けて取り組んでいきます。どうぞご理解、ご協力のほどよろしく願いいたします。